



演出
馬場 紀雄



指揮
河村 逸平



ピアノ
水谷 直子



プロローグ/
若者 千々石ミゲル
田村 由貴絵
メゾソプラノ



若者 伊東マンショ
濱崎 志麻
ソプラノ



若者 中浦ジュリアン
関 奈美
メゾソプラノ



若者 原マルチノ
山下 未紗
メゾソプラノ



ミンゴ
佐々木 香菜子
メゾソプラノ



支倉六衛門/
水夫1
渡辺 大
テノール



ヒメネス/
港役人・村山
島田 道生
テノール



船長/
水夫3
大井 哲也
バリトン



侍1-1/
ヴァリアーノ神父
宮西 一弘
テノール



侍1-2/
水夫2
太田 賢治
テノール



侍2/
船長
香月 健
バリトン



海賊/
ロベス
高橋 拓真
テノール

天正少年使節 (1582年—1490年)

信長の時代、巡察使ヴァリナーノはキリシタンの子弟を養成するために有馬で「セミナーオ」を創設し、さらにいわゆる「天正少年遣欧使節」、伊東マンショ、原マルチノ、千々石ミゲル、中浦ジュリアンという四名の少年を、西洋のキリスト教国やローマを訪問させることを企画した。

彼らは1582年に長崎からインド、アフリカを回り、ポルトガルとスペイン経由で1585年ローマに着いた。そこで教皇グレゴリオ13世から暖かい謁見を受け、その後継者シクスト5世の選出祝いにも参列し、日本の使節として初めてローマの市民権を与えられた。

その後イタリアの主な町でルネサンスの文化を体験し、日本の王子としての待遇を受けた。再びスペインとポルトガル、インドとマカオを巡ってここで旅行の日記を書き、1590年、秀吉の時代に祖国長崎へ到着した。その時、宣教師の追放令が敷かれ、弾圧の雰囲気は漂っていた。彼らは西欧からの土産として貴重な品々を持ち帰った。その中にヨーロッパの楽器、特に日本最初の活版印刷機とその技術があった。その後、四人ともイエズス会に入会したが、ミゲルは退会し、残り三名は神父となり、ジュリアンは1633年、「私はローマを見てきた中浦ジュリアン神父である」と言いながら殉教した。

このオペレッタは1942年チマッティ神父により作曲された。脚本は、今話題であるキアラ神父の墓石の発見者タシナリ神父である。描かれているのは、4人の少年が長崎に近づく帰り道の場面。船上で祖国を見る喜びと望郷、またスペインやイタリアで覚えた当時のいくつかの歌を紹介する。このオペレッタは1962年、伊東マンショの祝いに際して宮崎の日向学院で日本語に訳された。

同じ1942年10月25日チマッティ神父は木下李太郎作詞「天正の御世にローマに遣わされたる使者を偲ぶ歌」(752番)という同じテーマの歌も作曲した。

支倉六右衛門 (慶長使節 1613年—1620年)

1609年、スペイン船サン・フランシスコ号が上総国岩和田村(現在の千葉県御宿町)の海岸に座礁し住民が助けたこときっかけに、徳川家康はスペインとの交流を考えた。そのため伊達政宗は慶長遣欧使節を編成し、支倉六右衛門(1571年米沢市立石生まれ、桓武天皇の子孫といわれる)を正使、スペイン人フランシスコ会員ルイス・ソテロ(Luis Sotelo)を副使とし、180人を同行させて通商交渉のためメキシコとスペイン経由でローマへ派遣した。

一行は1613年10月28日、月ノ浦(現石巻市)を出帆、アカプルコ(メキシコ)に上陸、陸路でベラクルスに移動、大西洋を渡りスペインに到着。1615年1月30日、国王フェリペ3世に謁見し、そこで支倉六右衛門は洗礼を受けた。次に船でイタリアに渡り、1615年11月3日ローマで教皇パウロ5世に謁見、ローマの市民権を与えられた。(同年ローマでガリレオ裁判開始)。

帰り道マドリードでフェリペ3世との通商交渉が続けたが、日本でキリスト教禁教令が出され弾圧が始まっていることで成功しなかった。メキシコに渡り、フィリピン経由で、1620年9月20日、迫害の真最中帰国した。2年後、支倉六右衛門は死去したが、明確な状況は伝えられていない。彼が持ち帰った「慶長遣欧使節関係資料」は仙台市博物館に国宝指定。1640年、支倉家の嫡男常頼、家臣がキリシタンであったため、処刑されたことから見て、六右衛門は家族の中に信仰を伝えたと思われる。

1942年チマッティ神父が作曲したこのオペラの主題は、一行がスペインからイタリアに向かう途中、嵐と海賊に襲われ、スペインの船長と支倉六右衛門の態度の違いを描いている。一方は武力に訴えようとする、他方は武士道と人道に基づくべきだと主張する。六右衛門の立派な態度を讃える。

後援

ローマ法王庁大使館／イタリア大使館／イタリア文化会館
調布市／調布市教育委員会
公益財団法人 調布文化・コミュニティ振興財団
調布市国際交流協会
調布市 FM83.8MHz
カトリック学校連合会／カトリック新聞

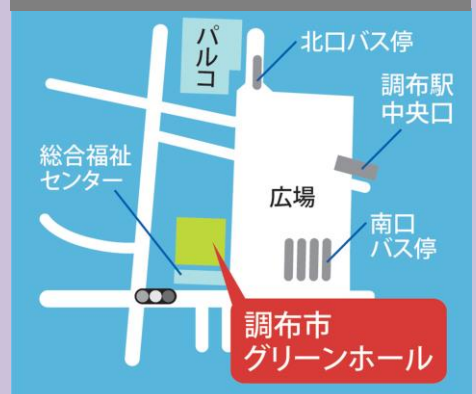
協賛

株式会社 藤木工務店／ドン・ボスコ社／サレジオ修道会

お問い合わせ

チマッティ資料館
TEL 042-482-3117 (呼出) FAX.042-490-6707
Mail db@v.cimatti.com
HP <http://www.v-cimatti.com/>

会場マップ



三鷹駅南口 小田急バス5番、2番「調布駅北口行き」に乗車